

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/8)

認定番号: 0218-1807, サービス名称: Quick AI, 事業者名称: 株式会社コデックス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須 2018/6/1
- 事業所・事業				
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須 株式会社コデックス
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須 2003年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)	15年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須 東京都港区南青山2-26-11 青山グラフィティ 3F (〒107-0062)
	事業所数(国内、国外)		国内: 1カ所	
	主な事業所の所在地		東京都	
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要(ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須 貿易システムの構築・保守運用、機械学習ソフトウェアの開発・提供
- 人材				
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須 原本 陽太
			代表者写真	選択 記述無し(*)
			代表者年齢	選択 記述有り(*)
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)	記述有り(*)
7	役員	役員数	選択 記述有り(*)	
		役員氏名及び役職名	記述有り(*)	
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択 記述有り(*)
- 財務状況				
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須 107,307,228円(2017年12月期)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択 記述有り(*)
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須 30,000,000円(2017年12月期)
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択 記述有り(*)
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択 記述無し(*)
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択 記述無し(*)
15	財務信頼性	上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択 記述有り(*)
16		財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択 記述有り(*)
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択 記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/8)

認定番号: 0218-1807, サービス名称: Quick AI, 事業者名称: 株式会社コデックス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容		
- 資本関係・取引関係						
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	記述無し(*)	
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択	記述無し(*)	
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	記述有り(*)	
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	記述無し(*)	
- コンプライアンス						
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択	記述無し(*)	
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	記述無し(*)	
24	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等文書類の名称	必須○	情報セキュリティ管理規程	
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り	
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	選択	記述無し(*)	
		上記の文書類の経営陣による承認の有無	記述無し(*)			
26	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	必須	有り: 苦情・相談処理に関する対応規程		
		上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り		
- サービス基本特性						
27	サービス内容	サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	Quick AI	
28		サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)	必須	2018/4/20
			無し			
29		サービスの基本タイプ	アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つの中から該当タイプを選択	必須	アプリケーションサービス	
30	サービスの内容・範囲	申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合せて500字以内で記述>	必須	Quick AIはExcelから簡単に利用できる機械学習ツールです。学習データのセル範囲を選択してクラウドサーバーに送信するだけで簡単にディープラーニングを活用した予測モデルの構築が可能で、Excelのワークシート関数から生成した予測モデルを使用することができます。また複数ユーザー間での予測モデルの共有やグループ管理を行えるので企業・団体での活用に適しており、WebAPIを利用したシステム構築にも対応しています。本サービスでは、信頼性が高く世界的に普及しているクラウド基盤「Amazon Web Service(AWS)」と「Microsoft Azure」を利用してクラウドソフトウェアを稼働させています。クラウド上のデータは暗号化され、物理的に異なる複数のデータセンターに分散して保存されます。予測モデルはAWS S3に保存、予測モデル以外のアカウントデータはAzure SQLに保存されます。	
		無し				
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	無し		

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/8)

認定番号: 0218-1807, サービス名称: Quick AI, 事業者名称: 株式会社コデックス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
32		サービス(事業)変更・終了時の事前告知	必須○	6カ月前
		告知方法		電子メール、製品ホームページ
33	サービスの 変更・ 終了	サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置	必須	無し
		基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略		無し
		契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無		無し
34		サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	必須○	有り: Webサイトのお問合せフォーム経由で随時受け付けています。
35		課金方法	必須	月間のビルド時間が利用枠(25時間)を超過した場合100円/1時間、 予測件数が利用枠(100,000件)を超過した場合50円/1,000件の従量課金が発生
		固定部分の課金方法		アプリケーションの基本利用料、追加ユーザ、追加データ容量、 WebAPI利用料を毎月課金します。※利用開始・利用枠の変更・ 解約時の月額利用料は日割計算されます。
36	サービス 料金	料金体系	必須	無し
		初期費用額		基本利用料(8,000円) + 追加ユーザ(1,000円/ユーザ) + 追加 データ容量(500円/GB) + WebAPI利用料(10,000円/GB) ※基本利用料にはユーザ5名、データ容量1GBの利用枠が含まれます。
		月額利用額		無し
		最低利用契約期間		
37		解約時ペナルティ	必須	無し
38		利用者からの解約事前受付期限	必須	無し
39		サービス稼働設定値	必須	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		2018/4/20にサービス提供を開始した為、実績値はなし。 目標稼働率: 99.99%
		サービス停止の事故歴		パターン3、対策参照値95%以上
				無し
40		サービスパフォーマンスの管理	選択	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		記述無し(*)
41		サービスパフォーマンスの増強	選択	記述無し(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/8)

認定番号: 0218-1807, サービス名称: Quick AI, 事業者名称: 株式会社コデックス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
42	サービス品質	認証取得・監査実施	選択	記述無し(*)	
43		個人情報の取扱い	必須	当社事業(システムの企画・提案・設計・開発・保守・コンサルティング、パッケージソフトウェア開発・販売)における業務遂行の為に、お客様から直接書面に記載された個人情報を取得し取り扱う	
44		脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	記述無し(*)
			診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		記述無し(*)
45		バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	完全バックアップ:週次 差分バックアップ:1時間毎 トランザクションバックアップ:5~10分間隔
			世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	35日間
46		バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	記述無し(*)
47		受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	記述無し(*)
48	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	「QuickAIサービス利用規約」に記載しております。 本サービスの月間稼働率が、以下に定める基準を下回った場合に、以下の金額をお客様の翌月利用料金から減額します。月間稼働率は以下の式で算出するものとします。 月間稼働率=(月間総稼働時間-月間停止時間)÷月間総稼働時間×100 ①月間稼働率が99.9%に満たなかった場合、お客様の当月分の月額利用料金の10%に相当する金額 ②月間稼働率が95.0%に満たなかった場合、お客様の当月分の月額利用料金の50%に相当する金額 2. 第5条3項および第4項による本サービスの停止は、第1項の月間停止時間に含めないものとします。	
49	サービス利用量	利用者数	選択	記述無し(*)	
50		代理店数	選択	記述無し(*)	
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等					
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	必須	Quick AI	
		主要ソフトウェアの概要	必須	Quick AIはExcelから簡単に利用できる機械学習ツールです。学習データのセル範囲を選択してクラウドサーバーに送信するだけで簡単にディープラーニングを活用した予測モデルを構築することが可能です。	
52	主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	株式会社コデックス	
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	記述無し(*)	
		標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否		記述無し(*)	
54	死活監視(ソフトウェア、機器)	死活監視の対象(アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器)ごとの監視インターバル	必須○	アプリケーション:常時監視 プラットフォーム・サーバ:5分間	
		障害時の利用者への通知時間		障害検知後、即通知	
55	障害監視(ソフトウェア、機器)	障害監視の有無	必須	有り	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。  
(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/8)

認定番号: 0218-1807, サービス名称: Quick AI, 事業者名称: 株式会社コデックス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
56	セキュリティ	時刻同期	必須	NTP
57		ウイルスチェック	必須○	ウイルスチェック: 有り パターンファイルの更新間隔: 日次更新
58		記録(ログ等)	必須○	ログ取得: 利用状況、例外処理、セキュリティ監視関連についてあり 保存期間: 利用状況と例外処理は3年。セキュリティ監視関連は1ヶ月。
59		セキュリティパッチ管理	必須○	毎月月初にパッチ適用
- ネットワーク				
60	回線	推奨回線	必須	インターネット回線
			必須	データセンターと利用者との間のユーザ接続回線は、責任を負わない
61		推奨帯域	必須	有り: 光回線推奨
62	推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	パソコン: Windows 7, Windows 10
		利用するブラウザの種類	必須	ブラウザは使用しない。
63	セキュリティ	ファイアウォール設置等	必須○	有り
64		不正侵入検知	必須	無し
65		ネットワーク監視	選択	記述有り(*)
66		ID・パスワードの運用管理	必須○	有り
67		ユーザ認証	必須○	アカウントID、ユーザID(メールアドレス)、パスワードによる認証
68		管理者認証	必須○	管理者権限運用管理手順有り
69		なりすまし対策(事業者サイド)	必須	無し
70	その他セキュリティ対策	選択	記述無し(*)	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/8)

認定番号: 0218-1807, サービス名称: Quick AI, 事業者名称: 株式会社コデックス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須 DC1:Amazon Web Services(AWS) データセンター専用建物 DC2:Microsoft Azure データセンター専用建物
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例:関東、東北))	必須 DC1:Amazon Web Services(AWS) 日本・関東地域 DC2:Microsoft Azure 日本・東日本
73		耐震・免震構造	耐震数値	必須 DC1:Amazon Web Services(AWS) 当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。 DC2:Microsoft Azure 当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
	免震構造や制震構造の有無		必須 DC1:Amazon Web Services(AWS) 当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。 DC2:Microsoft Azure 当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。	
74	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	必須 DC1:Amazon Web Services(AWS) UPS有り: 電力供給時間については、当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。 DC2:Microsoft Azure 数日分のバックアップ電力あり
75		給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須 DC1:Amazon Web Services(AWS) 有り DC2:Microsoft Azure 当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
76		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須 DC1:Amazon Web Services(AWS) 非常用電源有り: 連続稼働時間の数値は、当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。 DC2:Microsoft Azure 当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	自動消火設備の有無と、ある場合はガス系消火設備か否か	必須 DC1:Amazon Web Services(AWS) 自動消火設備:有(ガス系消火設備) DC2:Microsoft Azure 当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
78		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	必須 DC1:Amazon Web Services(AWS) 火災検知システム有り DC2:Microsoft Azure 当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
79	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須 DC1:Amazon Web Services(AWS) 当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。 DC2:Microsoft Azure 当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
80		誘導雷対策	誘導雷対策の有無と、対策がある場合は最大対応電圧の数値	必須 DC1:Amazon Web Services(AWS) 当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。 DC2:Microsoft Azure 当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
81	空調設備	十分な空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	選択 記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/8)

認定番号: 0218-1807, サービス名称: Quick AI, 事業者名称: 株式会社コデックス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
82	セキュリティ	入退室記録の有無と、 入退室記録がある場合はその保存期間	必須	DC1:Amazon Web Services(AWS) 有り: 保存期間については、当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。 DC2:Microsoft Azure 有り: 保存期間については、当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
		監視カメラの有無と、 カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間		DC1:Amazon Web Services(AWS) 有り: 24時間稼働、監視範囲、保存期間については、当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。 DC2:Microsoft Azure 有り: 24時間稼働、監視範囲、保存期間については、当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
		個人認証システムの有無		DC1:Amazon Web Services(AWS) 有り: 二要素での認証を実施。 DC2:Microsoft Azure 二要素(生体認証、カードリーダー)での認証を実施。
83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	DC1:Amazon Web Services(AWS) 当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。 DC2:Microsoft Azure 当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
		保管管理手順書の有無		DC1:Amazon Web Services(AWS) 当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。 DC2:Microsoft Azure 当該項目情報が非公開のため、内容を特定することができない。
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述 (破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	記述有り(*)
- サービスサポート				
85	サービス窓口 (苦情受付)	連絡先	必須○	Webもしくはエクセルの問合せフォームで受け付けます。 当社の連絡先: Web: <a href="https://www.quick-ai.com/">https://www.quick-ai.com/</a> 電話/FAX: 0120-954-429 / 03-5411-0814
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無し
86	サービス窓口 (苦情受付)	営業日・時間	必須	平日 9:30~18:30 (祝日、年末年始は除く)
		メンテナンス実施時間		問合せフォームでの対応の為、無し
87	サービス窓口 (苦情受付)	サポート対応	選択	サービスサポートの稼働率の実績値(単位:%)
		放棄率の実績値(単位:%)		記述無し(*)
		応答時間遵守率の実績値(単位:%)		記述無し(*)
		基準時間完了率の実績値(単位:%)		記述無し(*)
88	サービス窓口 (苦情受付)	サポート範囲	必須	操作方法、障害・不具合対応
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電子メール

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (8/8)

認定番号: 0218-1807, サービス名称: Quick AI, 事業者名称: 株式会社コデックス

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み	必須	お客様がアクセスするエンドポイントにはロードバランサーを配置し、アクセスが集中した場合は仮想サーバーを自動起動(オートスケール)することで負荷分散を実現し、高可用性を担保しています。
90		事故発生時の責任と補償範囲	必須	有り: QuickAIサービス利用規約
91	サービス通知・報告	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	必須○	利用者への告知時期 (1カ月前、3カ月前、6カ月前、12カ月前等の単位で記述)
		告知方法		原則1週間前、ただし緊急時はこの限りではない。
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		電子メール、Webサイト 有り
92		障害・災害発生時の通知	必須○	障害発生時通知の有無 有り
93		定期報告	必須	利用者への定期報告の有無 (アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等) 無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。